



大久保小だより



平成31年1月8日第12号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関21

048(854)7636

男子147名女子122名計269名

学校教育目標 **カいっぱい かしく やさしく たくましく**
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

フェアプレー

校長 金子 要一

保護者の皆様、地域の皆様、そして児童のみなさん、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。本年が皆様にとって幸多き年になるようお祈り申し上げます。平成最後の年が明け、平成も残すところ四か月です。5月には新天皇が即位され、元号も変わります。新たな年に期待したいものです。

さて、先月9日に、さいたま市で行われた**さいたま国際マラソン**をご覧になった方もいらっしゃるでしょう。そのレースの中盤で、こんなシーンを見ました。

レースは1位から3位を外国人選手が占める展開で進んでいました。その後を追い、4位と5位を争っていた日本人選手がしばらく二人で走っていました。

そんな中、給水所が近づいてきたため、二人とも自分のボトルを取るためにテーブルに寄り行きました。そして、一人の選手は自分のボトルを手に取り2回3回と水分を口に含みました。しかし、もう一人の選手は自分のボトルを見付けられなかったのかボトルを取り損ねてしまいました。このままでは水分補給ができず、体調を崩す可能性があります。

すると、それに気付いたボトルを手にした選手が、取り損ねた選手に自分のボトルを高速で走りながら差し出したのです。それも当たり前のように……。ボトルを取り損ねた選手はそれを受け取り、水分を補給することができました。日本人トップの座を争っているライバル同士なのですが、相手が困っていることが分かると、スッと手を差し伸べてライバルを助けたのです。これこそ**スポーツマンシップ**だと感じました。競い合う相手が不利な状況になって喜ぶのではなく、反対に手助けして自分と同じ条件にし、正々堂々と戦おうという**フェアプレー**の精神です。スポーツだけに限らず、本校児童にもこのような気持ちを誰もが持ち、行動してほしいと思いました。

本校では先月、**6年生の校内サッカー大会**を行いました。朝のうちは雨模様でしたが、開始前には雨も止んで実施することができました。グラウンドもまずまずのコンディションでした。

校内で優勝すると桜区の大会へ、そこで優勝すると中央大会への出場権が獲得できる大会です。6年生はサッカー大会に向け、体育の授業はもちろん朝も練習に励んできました。

試合は、前半は男女とも点が入らず後半にもつれ込みました。後半に点が入り勝負は決まりましたが、全員が一生懸命力いっぱいプレーしました。最後まであきらめず、ボールを追い、走りきりました。終了のホイッスルの瞬間、涙を流す児童もいました。それは、真剣にやった証拠です。そして、相手にボールをぶつけてしまったり、体が接触した時など手を差し伸べたり謝るシーンが見られました。ここでも**フェアプレー**が見られました。

さて、見事勝利し、名実ともに「大久保小の顔」として他校との試合に臨む選手のみなさん。ぜひ、フェアプレーの精神を忘れず戦ってください。そして、**仲間を、今までの練習を信じて**戦ってください。さらにもう一つ。誰からも応援してもらえ、下級生の見本となる「大久保小の顔」として大会に臨んでください。期待しています。



選手宣誓をする

田崎さん(10番)、外山さん(4番)